

舞台芸術と美術：日米ネットワーク発展に向けて

国際交流基金は、日米文化教育交流会議での提言を踏まえて、舞台芸術、美術それぞれの分野における日米専門家のネットワークの構築と今後の展開について、両国の専門家が対話を行なう場として「舞台芸術と美術：日米ネットワーク発展に向けて」と題する会議を、文化庁の協力を得て開催しました（平成 22 年 3 月 2 日（火曜日）10 時～18 時、国際交流基金さくらホール（東京都新宿区四谷 4-4-1））。

当日は、舞台芸術のセッションでは、日米双方の舞台芸術ネットワークの状況、演劇を中心とする日米交流の方策などについて、また、美術のセッションでは、日本美術展のあり方、日米学芸交流、近現代美術の相互交流などについて、活発な討議が行なわれました。

1. カルコン

(1) 委員

ティエリー・ポルテ（ジェイ・シー・フラワーズ営業担当共同経営者）

ウィラード・クラーク（クラーク日本美術・文化研究センター創立者）

ヴェリナ・ハス・ヒューストン（南カリフォルニア大学演劇学部教授）

佐藤 禎一（国際医療福祉大学・大学院教授（東京国立博物館名誉館長））

千野 境子（産経新聞特別記者）

(2) 事務局

エリック・ギャングロフ（米国側事務局長）

大海渡 憲夫（日本側事務局長）

2. 舞台芸術セッション

アンジェラ・マトックス（イエルバ・ブエナ芸術センター パフォーミングアーツ・キュレーター）

チャールズ R. ヘルム（オハイオ州立大学ウェックスナー美術センター パフォーミングアーツ・ディレクター）

マーティン・ウォールセン（カリフォルニア大学サンディエゴ校 University Events Office ディレクター）

内野 儀（東京大学大学院総合文化研究科教授）

坂手 洋二 (劇団「燐光群」主宰、劇作家)
久野 敦子 (財団法人セゾン文化財団プログラム・ディレクター)
立木 燐子 (舞踊評論家、AICT 国際演劇評論家協会日本センター事務局長)
清水 明 (文化庁文化部芸術文化課長)
大路 正浩 (文化庁長官官房国際課長)
横道 文司 (国際交流基金文化事業部舞台芸術チーム長)

3. 美術セッション

ジョー・アール (ジャパン・ソサエティ ギャラリー・ディレクター)
マリサ・リンネ (サンフランシスコ・アジア美術館学芸員)
マルコ・レオーネ (メトロポリタン美術館保存科学部長)
建畠 哲 (国立国際美術館長)
栗原 祐司 (文化庁文化財部美術学芸課長)
鬼原 俊枝 (文化庁文化財部美術学芸課主任文化財調査官)
佐野 千絵 (東京文化財研究所保存修復科学センター保存科学研究室長)
大路 正浩 (文化庁長官官房国際課長)
伊東 正伸 (国際交流基金文化事業部造形美術チーム長)